

2011年6月21日(火)

財団法人 日本サッカー協会

2011年度 第3回理事会

協議事項

1.	2010年度 事業報告の件 (協議) 資料No. 1
2.	2010年度 決算の件 (協議) 資料No. 2
3.	基本規程 改正の件 (協議) 資料No. 3 (1) 第2章 組織 第7節 専門委員会 第35条〔専門委員会の設置〕 (10) 事業委員会を削除したい。 (2) 第3章 所属団体 第5節 各種の連盟 第65条〔各種の連盟〕第2項 各連盟の法人化に伴い、名称を変更したい。
4.	2010年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件 全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため、以下5名を公認S級コーチとして認定したい。 氏名 : 岩本 慎二郎 (いわもと しんじろう) 指導チーム : 修徳高等学校 生年月日 : 1966年7月13日 資格 : 2007年 A級ライセンス 指導歴 : 1999年～2007年 修徳高等学校サッカー部 コーチ 2001年～2002年 東京都国体選抜 コーチ 2003年 東京都国体選抜 監督 2007年 U-16 日本代表コーチ (ウクライナバニコフ国際ユース) 2008年～現在 修徳高等学校サッカー部 監督 2009年 東京都国体選抜 U-16 監督 氏名 : 小池 直文 (こいけ なおふみ) 指導チーム : 横浜F・マリノス 生年月日 : 1969年9月21日 資格 : 2004年 A級ライセンス 指導歴 : 1995年～ 横浜マリノス育成部門で指導 1995年～1996年 横浜マリノスジュニアユース コーチ 1997年～1998年 横浜マリノスプライマリー コーチ

1999年～2000年 横浜F・マリノスジュニアユース コーチ
 2001年～2002年 横浜F・マリノスプライマリー 監督
 2003年 横浜F・マリノスジュニアユース 監督
 2004年～2005年 横浜F・マリノスユース コーチ
 2006年～2007年 横浜F・マリノスフットボールアカデミースクールリーダー
 2007年～ 横浜F・マリノス 育成統括コーチ

氏名：高倉 麻子（たかくら あさこ）

指導チーム：U-16 女子日本代表

生年月日：1968年4月19日

資格：2009年 A級ライセンス

指導歴：2005年～ ヴェルディサッカースクール豊島園（レディース）
 2006年～2008年 越谷フットボールコミュニティ（U-6/U-8）
 2007年～ ナショナルトレセンコーチU-15
 2008年～ 埼玉スタジアムサッカースクール（女子U-12/レディース）
 2009年～現在 U-16 女子日本代表 コーチ

氏名：柳楽 雅幸（なぎら まさゆき）

指導チーム：ナショナルトレセンコーチ

生年月日：1958年4月25日

資格：1995年 A級ライセンス

指導歴：1990年～1995年 (株) 東芝サッカー部 コーチ
 1995年 全日本女子 GK コーチ
 1996年 横浜マリノストップ・ユースチーム GK コーチ
 2001年 学生選抜・ユニバーシアード GK コーチ
 2003年 ユニバーシアード GK コーチ
 2005年 学生選抜・ユニバーシアード GK コーチ
 2008年 U-16 日本代表 コーチ
 2009年 U-17 日本代表 コーチ
 2009年 グアム代表 GK コーチ
 2008年～現在 ナショナルトレセンコーチ

氏名：吉田 達磨（よしだ たつま）

指導チーム：柏レイソル

生年月日：1974年6月9日

資格：2007年 A級ライセンス

指導歴：2002年 東海大学付属浦安高等学校サッカー部 臨時コーチ
 2003年 柏レイソルU-18 コーチ
 2004年 柏レイソルU-15 コーチ
 2005年 柏レイソルU-15 監督
 2006年 柏レイソルU-18 コーチ
 2007年 柏レイソルU-18 ヘッドコーチ
 2008年 柏レイソルU-18 監督

2009年	柏レイソル U-15 監督
2010年	柏レイソル アカデミーダイレクター
2011年～現在	柏レイソル 強化本部長

※参考：現S級コーチライセンス保持者数： 342名（上記5名含む）

※参考：2010年度公認S級コーチ承認数： 14名 / 25名（上記5名含む）

5. 大学・専門学校における指導者養成講習会の件

以下の大学において、2011年度より公認C級コーチ養成講習会の開設を認めたい。
中京大学（愛知県）（C級）

インストラクター：松永 利弘（47FA インストラクター）公認S級コーチ
山尾 光則（47FA インストラクター）公認B級コーチ
渡辺 靖英（47FA インストラクター）公認B級コーチ
磯村 健（47FA インストラクター）公認B級コーチ

参考：開設認定校数 大学：33校 短大：2校 専門学校：16校（上記含まず）

6. 審判員とのプロフェッショナル契約解除の件

以下のレフェリーとのプロフェッショナル契約を解除することとしたい。

審判員名：柏原文二（かしはら じょうじ）

1963年4月19日生（48歳） 元FIFA主審

*2003年からプロフェッショナル契約を結んでいる。

Jリーグ審判数：315（リーグカップ戦含む）

事由：AFC審判部長就任のため（2011年7月1日）

解除日：2011年6月30日

7. 日本人指導者海外派遣の件

（協議）資料No.4

タジキスタンサッカー連盟からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者を契約の上、派遣したい。派遣時期は、7月初旬を予定している。

派遣者：鈴木隣（すずき ちかし）（52歳）

派遣先協会：タジキスタンサッカー連盟（TFF）

資格：公認S級コーチ（1998年取得）、ドイツ公認A級コーチ（1995年取得）

役職：U-16タジキスタン代表チームの監督

契約期間：7月1日～9月30日

費用負担：[JFA]給与及び傷害保険料、住居費、日本～タジキスタン間の航空券
[TFF]自動車、遠征計費

略歴：添付別紙のとおり

<背景及び実施理由>

鈴木隣氏は2010年9-12月の間、JICAのシニアボランティア派遣制度でタジキスタンサッカー連盟にユース育成コーチとして派遣されたが、派遣期間中にその指導力を同連盟に高く評価され、U16代表監督に就任した。JICA派遣が同国初のシニアボランティアだったことより短期の3か月間だけで本年1月に帰国したが、タジキスタンサッカー連盟よりは再派遣を正式要請されていた。当初JICA制度による再派遣を目指したものの、JICA内部の突然の制度変更により従来通りの派遣が難しくなった。JFAとしてはJICAと粘り強く交渉するも9月のAFCU16選手権予選前の再派遣の実現は時間的に難しい状況となった。

そこでタジキスタンサッカー連盟との直接契約による派遣を念頭に同連盟と交渉したが、アジアの中でも財政的に最も零細な部類に属する同連盟には経費負担能力がなく、大会出場のためのチーム遠征経費のみで手一杯という状況であった。以上を勘案し、3か月という短期の派遣ながらユース育成の観点からの費用対効果の大きさ、先方連盟との末永い人脈構築の好機と判断して上記の条件での派遣を実施したい。

尚、AFCU16選手権の予選を突破した場合は、再度JICA制度での派遣を試みる予定。

8. 国際委員 追加の件

(協議) 資料No.5

以下の者を国際委員に追加したい。

細田 利江 (ほそだ りえ)

9. 部会員交代の件

競技会委員会 3種大会部会員を、以下の通り交代したい。

現) 部会員 (中国) 大辻 明 (おおつじ あきら)

↓

新) 部会員 (中国) 笠井 謙次 (かさい けんじ)

10. 東日本大震災復興支援活動の件

6月10日付のFIFAからのレターにより、東日本大震災の復興にかかる支援として、FIFAから450万ドルの財政支援、及び「ゴールプロジェクト」3件分150万ドル、総額600万ドルの財政支援を受けられることとなった。また、FIFAのジョイントパートナーであるアディダスを通じて、サッカー用品を提供して頂けることになった。

これを受けて、本日、復興支援検討委員会を開催し、JFAとして新たに1億円を復興支援に充当し、各種事業を実施していく方針を決定した。

今後、FIFAに対して、FIFA財政支援、並びにゴールプロジェクトの用途についての了解を得る手続きを行い、その確認が取れ次第、別紙のとおり、復興支援を行っていきたい。

については、上記方針についての承認を頂くとともに、今後の具体的な復興支援の実施については、復興支援検討委員会に一任頂くことを承認頂きたい。なお、FIFAとの調整の結果、変更が生じた場合は、改めて理事会に報告するものとする。

11. なでしこジャパン海外強化指定選手制度の件

2011年度対象選手として以下の1名を推薦したい。

氏名：鮫島 彩（さめしま あや）

所属チーム：Boston Breakers（アメリカ女子リーグ1部）

生年月日：1987/06/16 24歳

身長：163cm

体重：54kg

ポジション：DF

国際Aマッチ キャップ数：26

大会個人賞等：なし

※キャップ数は2011年6月10日時点のもの。

12. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)の件

1. 公認申請者：(社)岩手県サッカー協会

施設名：岩手県フットボールセンター

施設所有者：山本 光男

公認期間：2011年6月21日～2014年6月20日

公認番号：第112号

<特記事項>

◆ドリームターフ（PT2065RS+）/積水樹脂(株)は製品検査（ラボテスト）を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：長野県松本市

施設名：松本市サッカー場

施設所有者：松本市長 菅谷 昭（すげのや あきら）

公認期間：2011年6月21日～2014年6月20日

公認番号：第113号

<特記事項>

◆ハイブリッドターフ（XXP-62）/住友ゴム工業(株)は製品検査（ラボテスト）を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

13. トレセン/地域リーグ支援制度の件

（協議）資料No.6

審査の結果、条件にあったFAに対し、支援金20万円を支払うこととしたい。